

グラントワ応援団通信

第20号

2008年7月11日
事務局
0856・31・1860



いあごわい

ボランティア会副会長

島田さつき

「グラントワ提携店」について

皆様、グラントワ提携店を利用されていますか？

七月三日現在、41店舗。施設が参加、島根県立石見美術館ミュージアムパスポート会員、グラントワホール友の会会員の方にそれぞれサービスを提供していただいています。元々、会員確保だけでなく、地域に密着した文化施設として、地域のお店や施設と協力関係を構築し、地域を一緒に盛り上げていこうという意図の元に始めたものです。お陰様で趣旨にご賛同いただいた多くのお店・施設にご参加いただき、地域の皆様に支援されていることを実感します。せっかくの制度ですから、ぜひ折に触れご利用くださいますようお願いいたします。

キティEX

いよいよ皆様お待ちかねのキティちゃんの展覧会が始まります。さてこの展覧会タイトルにEXとついていますが、これはキティ・エキシビションの略です。

1974年生まれのキティちゃん(実は34歳!)、今や日本のみならず、遠く海外を席卷する人気者です。この展覧会も香港や上海から問い合わせが来ています。アジアだけでなく、ヨーロッパでもキティショップが次々現れるなど、その人気はうなぎのぼりです。かくいう私も、小学校の頃から親しんでいる一人ですが、キティ世代にはそれぞれキティへの思いがあるのではないのでしょうか。実はこれが今回の展覧会を見るキーポイントです。副題に“ハローキティとアート、ファッションの幸福なコラボレーション”とありますが、「あなたにとってキティとは？」と問いかけられたアーティストやデザイナー、有名人がその思いを表現したキティ作品が一堂に並ぶという趣向ですから、どんなキティがでてくるのか楽しみです。

ちなみに、現在のキティは3代目。私が親しんだ初代キティは顔がもうちょっとおにぎり型でした。今は丸顔になってきていますね。時代と共にキティも進化しています。

みなさんもいろんなキティを楽しんでください。

(TM)

生きがいを 得るために

ボランティア会会長

石田 彰

今年度、ボランティア会の組織が改まりました。新役員は下記のとおりです。

準備出發段階の役割を無事果たされた運営委員のみなさま、ごくろうさまでした。

役員会は二ヶ月に一回定例会をもつほか、全体的な行事に際して随時会を開きます。グラントワの「事業を支援し、同時に会員個々が生きがいを得る」ために、皆さまのご協力をお願いします。

平成20年度ボランティア会役員と登録人数

会長 石田 彰 副会長 野村三代子・島田さつき
事務局長 高橋和男 事務局 花田好幸
グループリーダー・サブリーダー

グループ名	リーダー	サブリーダー	登録人数 (4月現在)
1、映画	八木雄治	千振京子	15
2、イベント	城市恵子	寺井宇喜地	12
3、ワークショップ	野村三代子		
	①劇場	田中道枝	7
	②美術館	樫山喜代子	10
4、フロント	有福君江	空 修子	30
		永嶺佳子	
5、ギャラリートーク	石田 彰	飯塚哲也	10
6、クリーンアップ	早田正義	伏谷康子	18
7、生花	寺井美江	伊藤和枝	11
8、発送	藤井隆弘	鈴川博司	56
9、情報発信	洗川光廣	大畑 稔	9

皆様にとって「グラントワ」は、どんな存在でしょうか。行かなければずっと行くことがないかもしれません。私は、幸いにも近い場所に住んでいることで、好きな時間好きなように過ごすことができます。だから他の人が知らない贅沢を味わうことがあります。

なんと、いつても生の舞台や作品を体感できることは、この上ない喜びと感動が生まれます。

この度、グラントワボランティア会は、それまでグラントワ運営委員会を「ボランティア役員会」と改めました。石田ボランティア新会長、野村副会長と共に、自分をパワーアップし、皆様からより注目される「グラントワ」にしていきたいと思います。どうぞ、宜しくお願ひします。

ボランティア会副会長

野村三代子

グラントワボランティアのパイプ役を果たしたいと考えています。よろしくご協力をお願いします。



グラントワ

ボランティア交流会

七月四日（金）夕方から、澄川センター長・山崎館長を囲み、ボランティア会員交流会が開かれました。会員三十数名が参加。ボランティア会の石田会長のあいさつの後、館長の話の中に、「今の社会では、「共働」という活動が大事です。人と人が繋がりをもち、こと、きょうどうしよう。」と声掛けする。「ウィットのある言葉に感激。その後、センター長のお話を聞きました。

た。「ボランティア会員の皆さんに感謝している。」「東京で今、新東京タワーの建設が進んでいる。名称はスカイツリー（タワー）。地上六百メートル。タワーの安全構造について、人体に例えてのお話。足、腹部・背骨、頭部。タワーの先端に五十トンもの重量の頭部が必要なこと。それでタワーが安定していること。重力と柔構造等。」新鮮な話題の数々でした。



映画を観ること

私は、初めて映画を観て感動したのは、「サウンド・オブ・ミュージック」をテレビで見たときでした。この映画の何に感動したのか？多分（あんまり昔なので・・・）映画全体に溢れていた“家族愛”とその家族が全員で奏でる“ハーモニーの美しさ”に。

すぐにレコードを買って、ずっつと聞いて、ぜんぶの曲を英語で歌える位に覚えてしまいました。当時、中学校二年生位かな？

英語が大嫌いだだったので、もちろん意味なんか分かる筈もなく。ただ聞こえたように覚えてただけなんです。

とっつても楽しい時間だったのを覚えてます。それから、沢山の色々な映画を観て来て。

「小さな恋のメロデー」「ライフ・イズ・ビューティフル」「アメリ」etc

今でも“素敵な音楽が流れる、愛に溢れた映画が”大好きです。観終わった後も、時間を経て思い出した時にも幸福感に包まれた様な。

これからも、いろんな映画を観て、そんな“宝物”を増やして行くつもりです。グラントワで上映する映画は、地味だといわれます。確かに地味です。

だけど、その“地味な映画”が、きつと、観にきてくれた人たちの心を幸福でいっぱいにしてくれると私は、信じています。
(ボランテニア 橋本美香)



*「七夕飾り」

能を観に行こう

日本には能という素晴らしい伝統芸能があります。生きた人間の世界と死んだ人の世界を同じ舞台にもつてきてそれぞれの世界をえがきます。

一般的に能というと、とても退屈で窮屈な演劇としてのイメージが定着しています。

面（おもて）を付けた役者がそろそろ歩き、謡い（あるいは台詞）も何を言っているのかちんぷんかんぷんと言ったところが主な理由でしょう。

能には文学、音楽、舞踊、演劇などの要素がまじりあい、さらに美術的にすぐれた装束や面などを含めると、じつに色々な側面があるわけです。

ですから、いちどに全部が分からなくても自分の興味のあるところからすこしずつ入っていくのも能をより楽しめる方法かな、とおもいます。

話がすこし長くなりました。もうすぐ開演です。鼓と笛の音が揚幕の奥から、聞こえてきました。これは（お調



七夕企画「七夕伝説」

今年も七夕の季節がやってきました。グラントワにおいても「七夕伝説」と題しているいろいろな催しを行いました。何故、「七夕伝説なの？」という疑問をお持ちの方もいらっしゃるかと思いますが、最初にグラントワ事業の趣旨をお伝えしたいと思います。

「七夕」という季節行事が単なるイベント化する中において、本来の意味を理解してただこうという思いから、このネーミングとなりました。ただ、グラントワは生涯学習センターではなく文化会館ですので、文化的な匂いも漂わせながらの実施となりました。

その中で益田市保育研究会ならびに、かのあし保育協議会と連携し回廊への「笹の葉飾り」を行いました。七月一日から四日までの間に三十園・四百七十名の園児の皆さんが来館し飾り付けを行っていただきました。暑い中での飾り付けにも係わらず、園児の皆さんには汗をかきながら楽しそうに行っていました。

しばし仕事を忘れて保育園児と接してました。短冊には「新幹線の運転手になりたい」とか「お外でかえるとおたなじゃくし」といった遊びますように」といった子ども達の純粋な願いが込められていて、大人が書いた「ガソリンの値段が下がりますように」といった現実的な願いとの対比が印象的でした。

同時に保育士の皆さんの奮闘ぶりにも触れさせていただき、心が育つ大切な時期の教育の重要性を感じました。

マスメディアを通じて毎日のように凶悪事件が報じられている昨今ですが、今回は久しぶりに子ども達の澄んだ瞳と純粋な心に触れることが出来、心が洗われる思いでした。

叶う願い、叶わぬ願いといろいろですが、「願い」があることの大切さを感じた今回の「七夕企画」でした。

いい席選び

＝いい席のトピック＝

グラントワの大ホール。大きな舞台と円弧状の客席がとても魅力的な空間です。オープン後、多種多様の催事で楽しみ多い場所となりましたが、チケット購入のときはどのように席を選ばれますか。やはり一番誰もが好んで確保したいと思うのは一階席の中央部分でしょうか。あまり前すぎず、後ろすぎず、そして横に寄らず。席種が S・A・B・C とあれば S 席です。ステージがよく見えて、よく聴こえてヴェリ・グッド。チケット代は高いのですが、ポップス・コンサートなどではワン・プライスのことも多いので、一番の人気エリアでしょう。

ところで二階席の横通路より後方の席に当たることがありますでしょうか。少なからずステージから遠く高くはなりますが、座ってみると、これが意外にファインなのです。例えばクラシック・コンサートなどでは、オーケストラの前方の弦楽器奏者のみでなく、後方の管楽器奏者などが見渡せます。「あのクラリネットのお嬢さん、とても綺麗で可愛いな」とオジサン。「あのトランペットのお兄さん、超イケメンだね」と、これまたオバサン。オペラ・グラスを準備できれば、なおいいですよ。また音響も問題なく、そのサウンドを楽しむに十分に

す。それから何といってもチケット代。一番安くてもお求め易いお手頃価格なのです。

八月の読売日本交響楽団や十月の歌劇「魔笛」公演のお手頃チケットを求められて観賞してみるのもいいかもしれません。同じ予算で倍人数のご家族・ご友人とお楽しみ頂くこともできます。読売日響コンサート前半のプログラムはピアノとオーケストラのための名曲。ソリストの上原彩子さんは、過去に来益した演奏家の中では、ピアノのブーニン、指揮の小澤征爾両氏に匹敵する人気・実力を得る可能性を秘めた、期待の若手ピアニストです。後半のメイ・プロはあの「新世界交響曲」です。第二楽章が「家路」と題されて馴染みの深い、故郷を想うイングリッシュ・ホルンの奏でるメロディが美しく印象的な、ドヴォルザークの最高作品です。終わりに、オペラ（歌劇）って耳にしますと、格調高くてとつつきにくい、どこか遠い国の芸術という印象もありますが、大抵は単純なストーリーの音楽劇で、「魔笛」はモーツァルトが死の年に全身全霊を注ぎ込んだ、世界で最も親しまれている素敵に楽しいオペラです。昨年の「椿姫」に続いて外国歌劇場の引越し公演で、「本場」を他会場のおよそ半額のチケットで観賞できますので、迫力の舞台と、大ホール満席の観客が一体となって熱気

あふれる感動のひとつを共有できたらと思います。なお、DVDが美術館ロビー・アートライブラリーにありますので視聴できます。人それぞれがいい席でグラントワしましょう。

(ボランテニア 大庭明博)



健康バロメーターと

発送作業

六月四日と二八日に発送ボランテニアに行った。(発送ボランテニアに所属していないのだが、※少しの時間帯参加でも大歓迎のチラシに励まされて参加。)

さて、二八日の当日九時前に集合。たくさんの人(館側のスタッフも一緒)「ああ、頼もしいグループ」と感心した。

しかし、「あまりお見かけしない人だ。」と思いつつも、一組一八枚のチラシを流れ作業よろしく開始。作業は元気な人がたくさんいて、私は流れに押されながら一生懸命ついていった。さて、「コーヒータム」お菓子もいただき、気持もほぐれ、世間話、それも知らぬ者同士で結構楽しかった。さてさて、この人たちの

グループの雑談は少々違う、つまり、益田の能グループのお助け隊だった。

今回の発送作業は、この人たちのおかげで、早めに終了、「発送グループ」のボランテニアの人も、他の位置で作業されていた。先ほどは、知らない人ばかりだったので、私は旧知に会ったことくらい懐かしくなり声をかけた。

終了後、ボランテニア室で素敵な夫婦の奥様から「点数を記入しましょう。」と誘われ、久しぶりに点数を書き込んだ。「ポイントがたまったらコーヒータムがいいかな。」と、とらぬ狸の皮算用”を胸にグラントワを後にした。

この仕事は、「細心さのいる手先仕事」と「流れをスムーズに動く体力」が必要だ。いつまでも元気で、皆さんとボランテニア活動ができればと、つまり、この作業は私の健康バロメーターかなと思った。また、行きます。宜しくお願いします。

(ボランテニア A・T)

あ
と
が
き

今回、締切日ギリギリの原稿でなんとか四ページに納めることが出来ました。ページ間調整については、原稿の字数の都合でまとまりのないところがあります。ご容赦下さい。

(情報発信ボランテニア)